

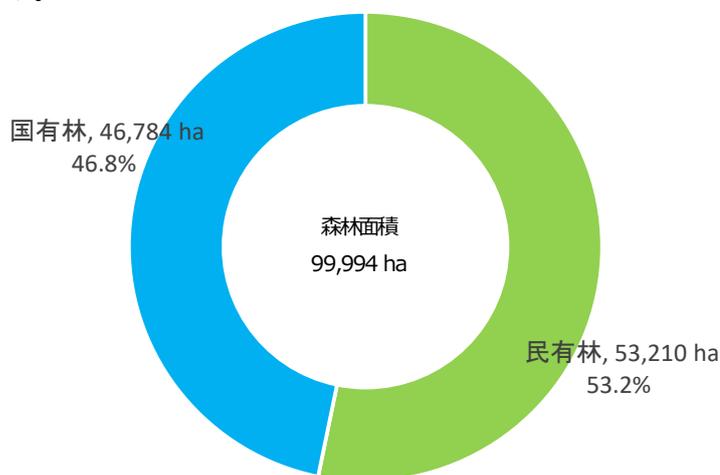
第2章 村上市の森林・林業の現状と課題

1 村上市の森林資源の現状

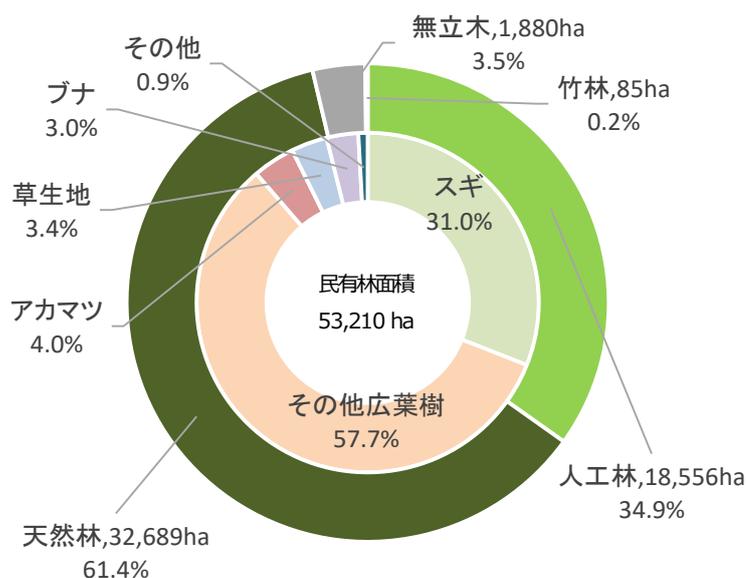
(1) 村上市の森林面積

本市の総面積 117,426ha のうち森林面積は 99,994ha で総面積の 85.2%を森林が占めています。このうち民有林（国有林以外）は 53,210ha で森林面積の 53.2%を占め、民有林のうち人工林面積は 18,556ha で人工林率は 34.9%に達し、新潟県平均の 24.9%を大きく上回っています。民有林の保安林面積は 16,575ha と民有林保安林率は 31.2%となっています。

本市の民有林を林種別にみると、61.4%は広葉樹を中心とした天然林であり、人工林は全体の 34.9%で主にスギ林となっています。人工林の一部にはアカマツやカラマツ等のマツ類、広葉樹であるキリの人工林も見られます。



村上市における民有林・国有林の面積割合



民有林の林種・樹種別の面積割合 (2019年)

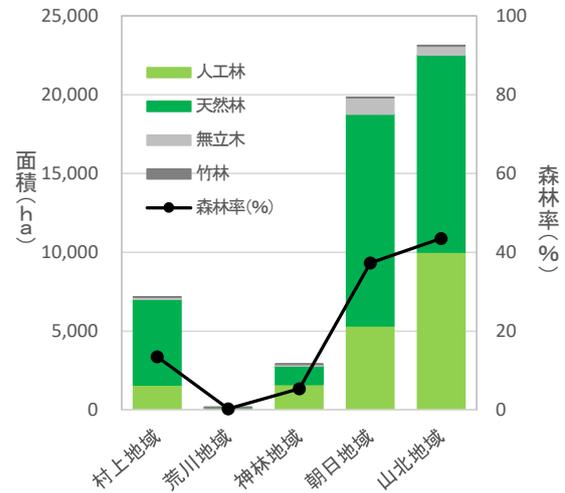
(2) 地域別の民有林面積

市内の地域別の民有林面積をみると、最も広大な面積を有しているのは山北地域の 23,128ha であり、市内の民有林面積の 43.5% を占めています。

続いて朝日地域が 37.3%、村上地域が 13.5%、神林地域が 5.4%、荒川地域は 0.3% となっており、神林地域と荒川地域における民有林の面積は小規模です。

地域別の民有林面積とその割合

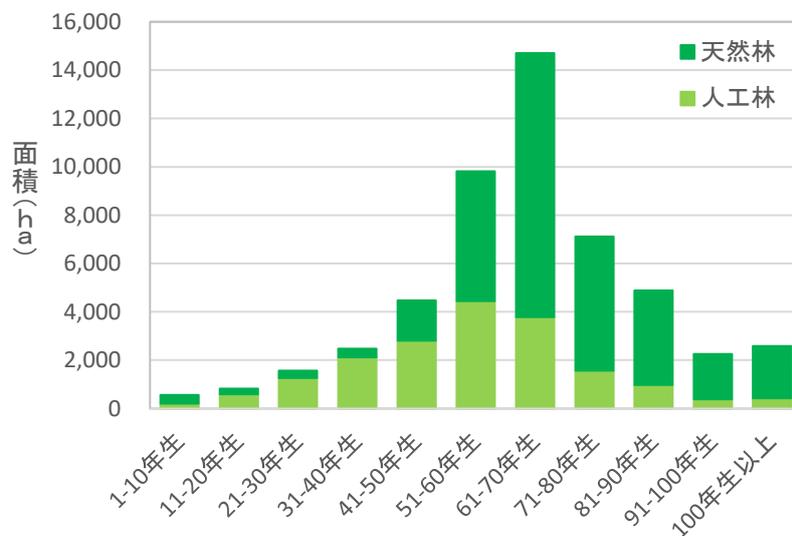
地 域	民有林面積 (ha)	割 合
山北地域	23,128	43.5%
朝日地域	19,845	37.3%
村上地域	7,182	13.5%
神林地域	2,897	5.4%
荒川地域	158	0.3%
全 体	53,210	100%



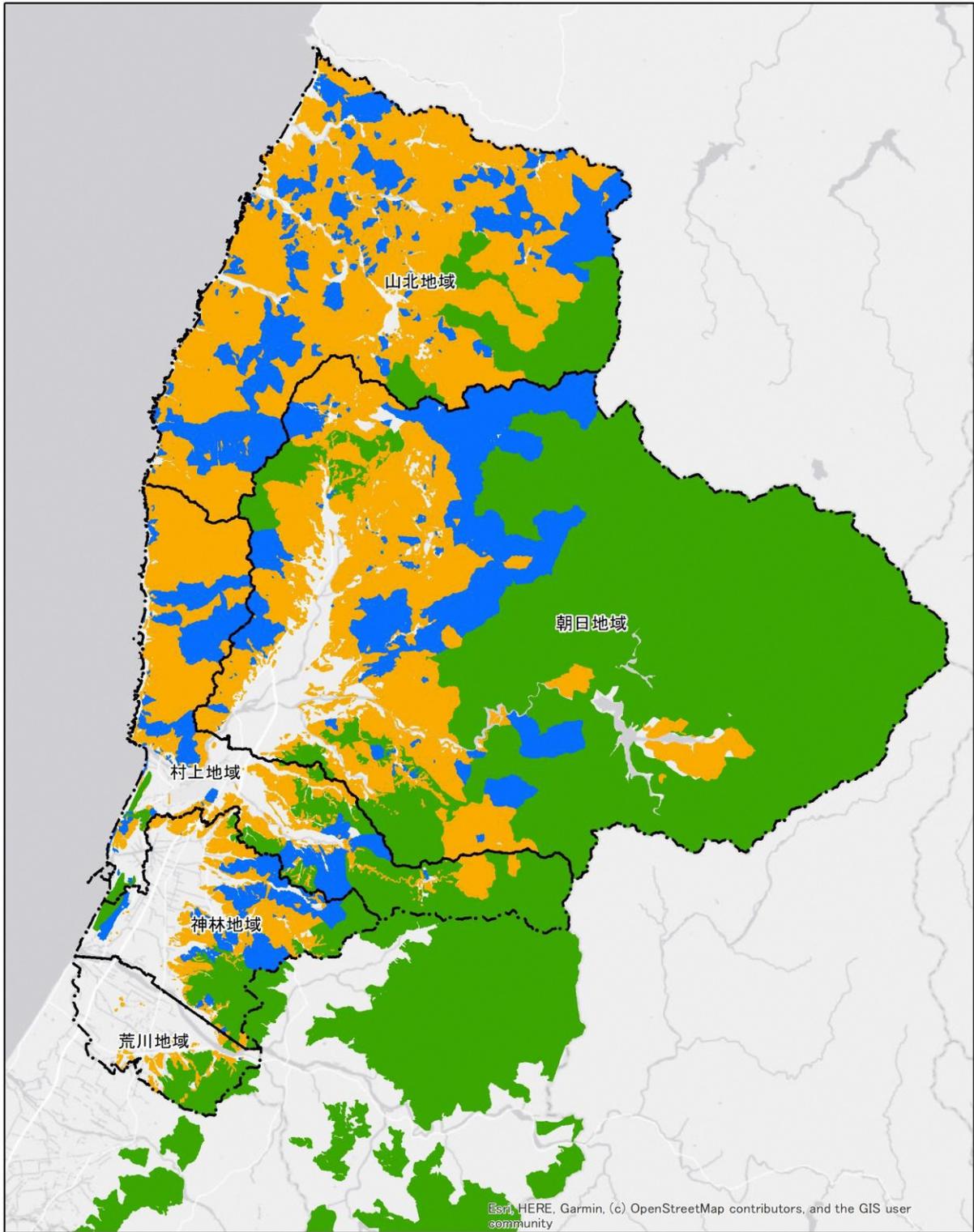
民有林の地域別面積 (2019年)

(3) 村上市における林齢別の森林面積

市内の民有林における林齢別の面積をみると全体的に 61-70 年生が突出しており、全体の 27.7% を占めています。これは広葉樹を主体とする天然林において 61-70 年生が多いことが理由の一つです。スギを主体とする人工林は 51-60 年生が 4,631ha と最も多く占めており、村上市森林整備計画におけるスギ標準伐期齢が 45 年ということを考慮すると人工林資源は「整備する段階」から「利用する段階」に入っていると いえます。



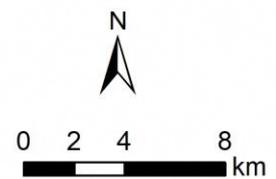
民有林における林齢別の森林面積 (2019年)



凡例

- 旧市町村境界
- 保安林
- 地域森林計画対象民有林
- 国有林

※森林GIS(2019年)及び国土数値情報(国土交通省)を基に作成したデータである。



村上市における森林の分布状況 (2019年)

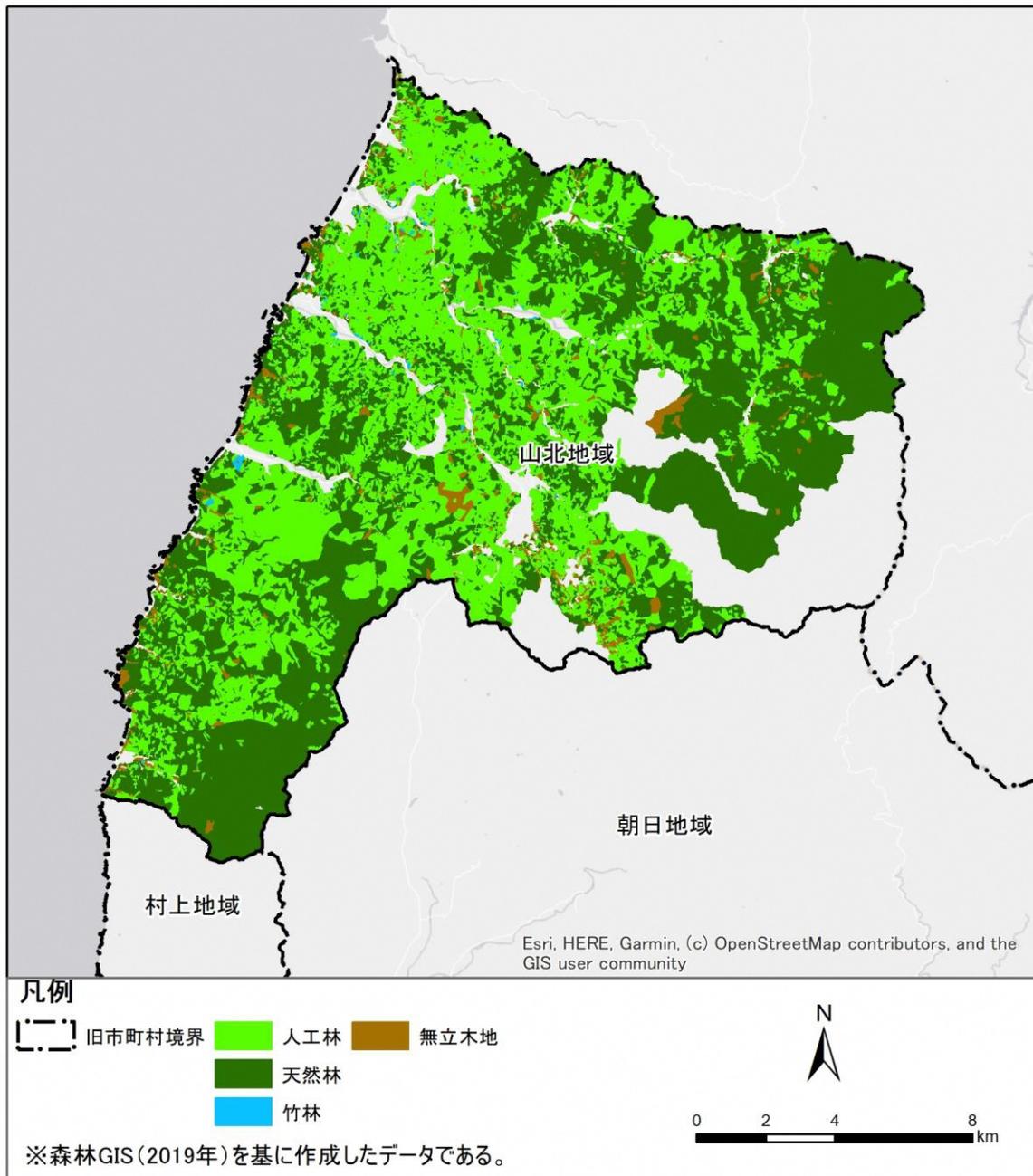
(4) 地域別の森林資源の状況

① 山北地域

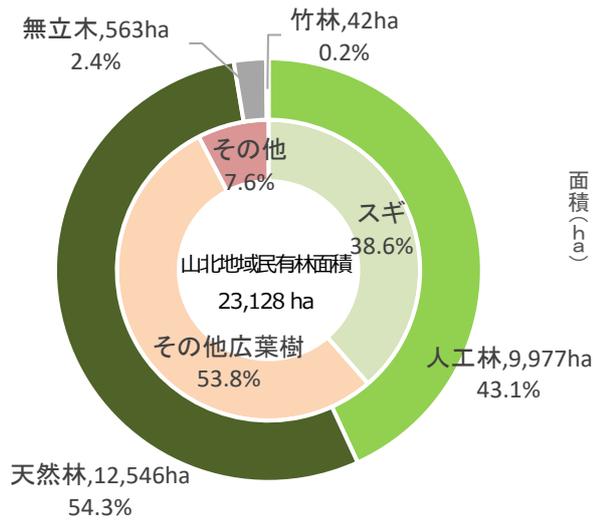
山北地域の民有林面積は 23,128ha であり、これは本市の民有林面積の 43.5%を占めており、民有林保有面積が最大です。

天然林と人工林の比率は、天然林が 12,546ha で全体の 54.3%であるのに対し、スギを主体とした人工林は 9,977ha で全体の 43.1%を占めています。

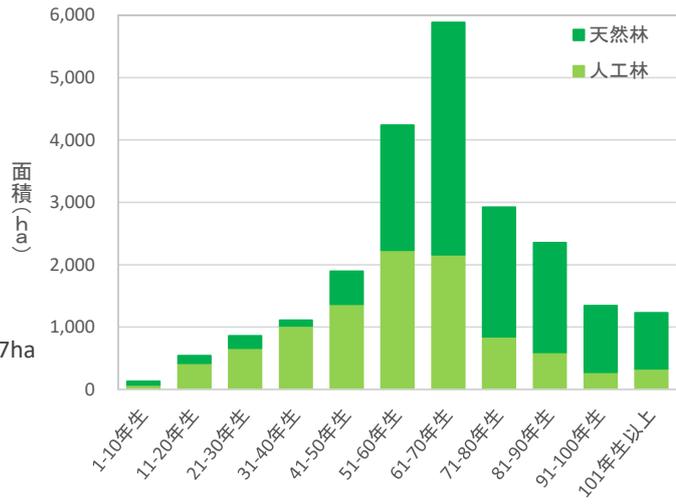
林齢別の森林面積では、天然林は 61-70 年生が 3,727ha と広く分布しており、一方で人工林は 51-60 年生の 2,234ha をピークとしたなだらかな山型の分布となっています。



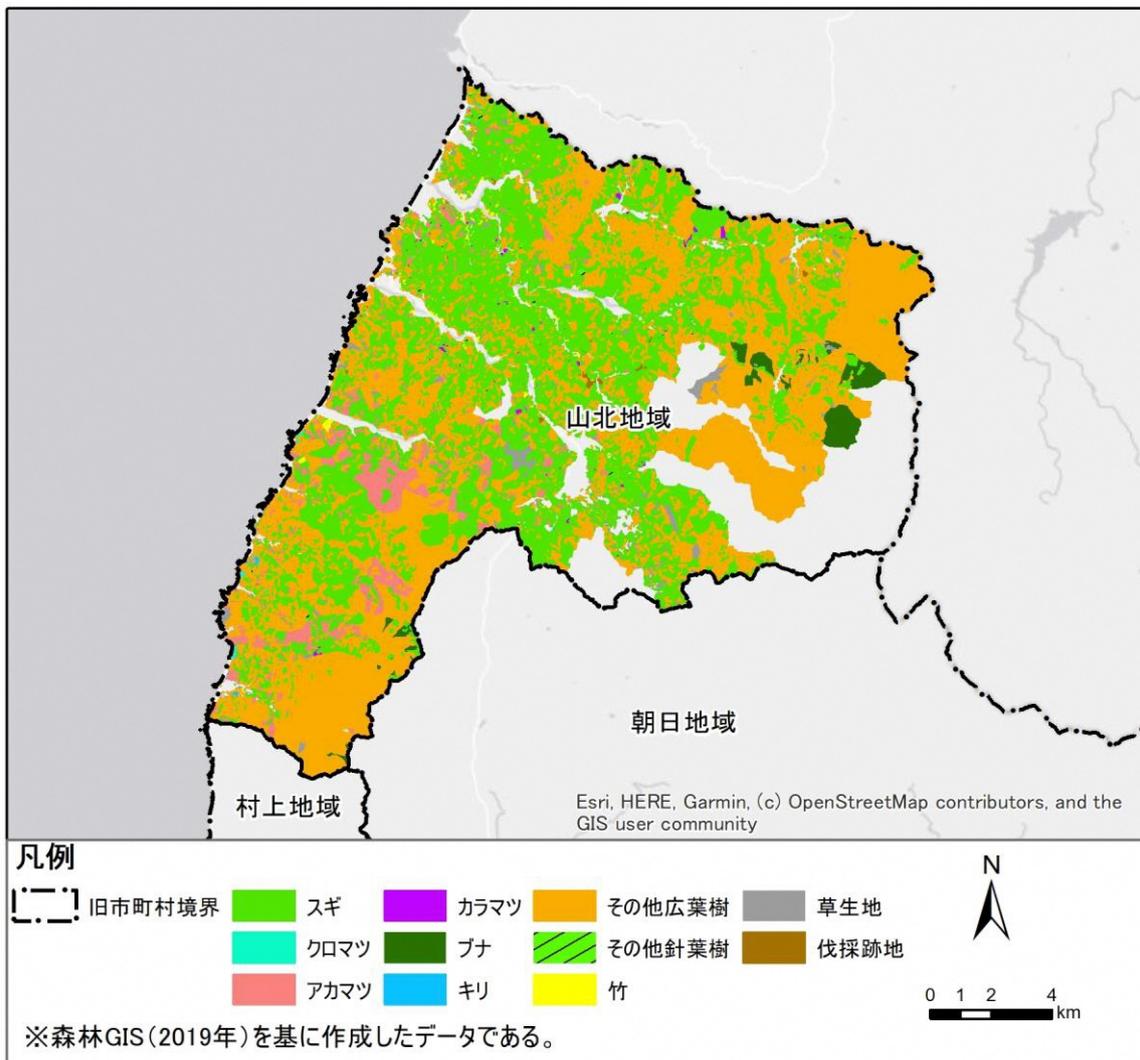
山北地域における林種別の森林の分布 (2019年)



林種・樹種別の面積割合 (山北地域)



林齢別の森林面積 (山北地域)



樹種区分図 (山北地域) (2019年)

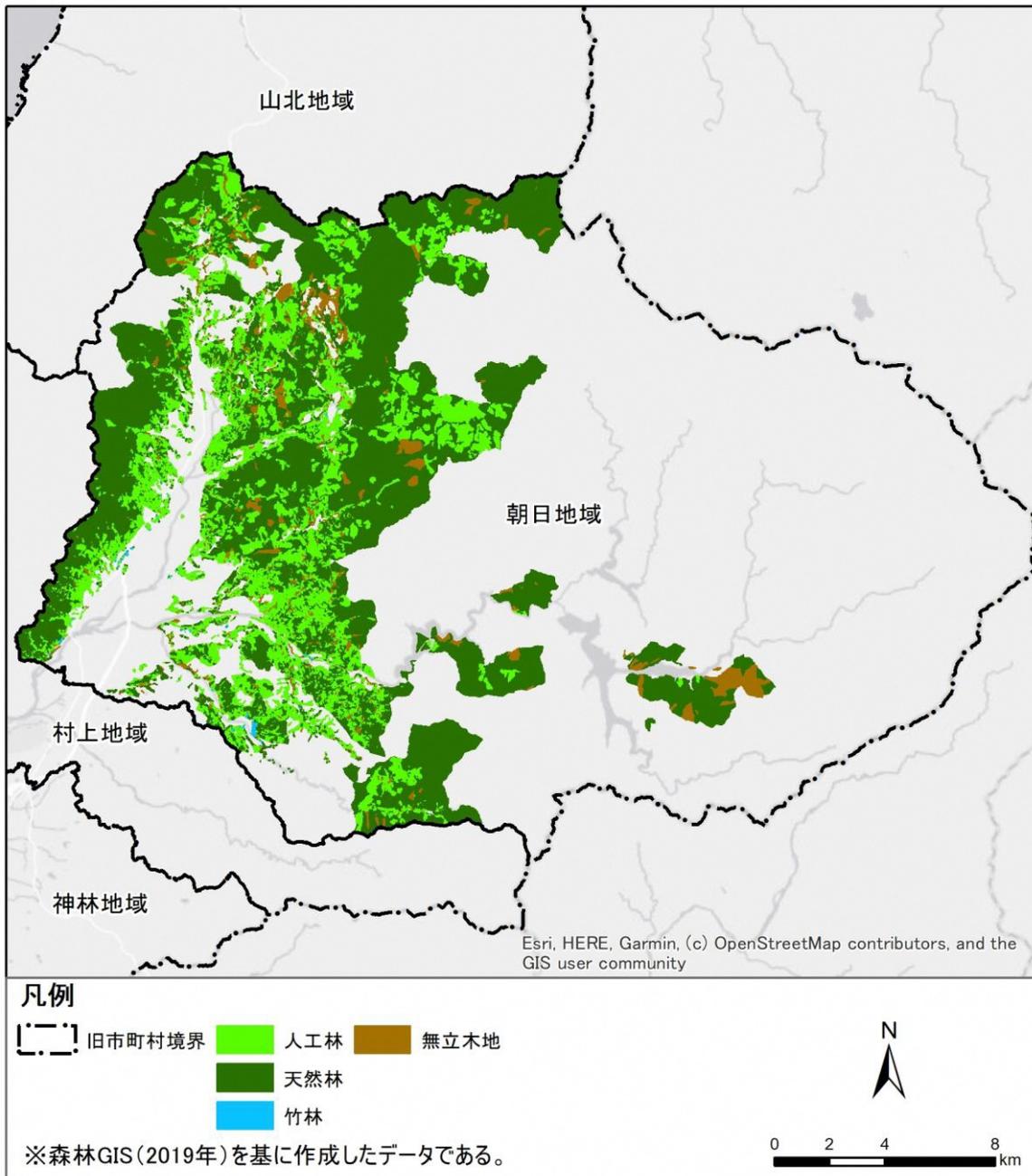
② 朝日地域

朝日地域の民有林面積は 19,845ha であり、これは本市の民有林面積の 37.3%に相当します。

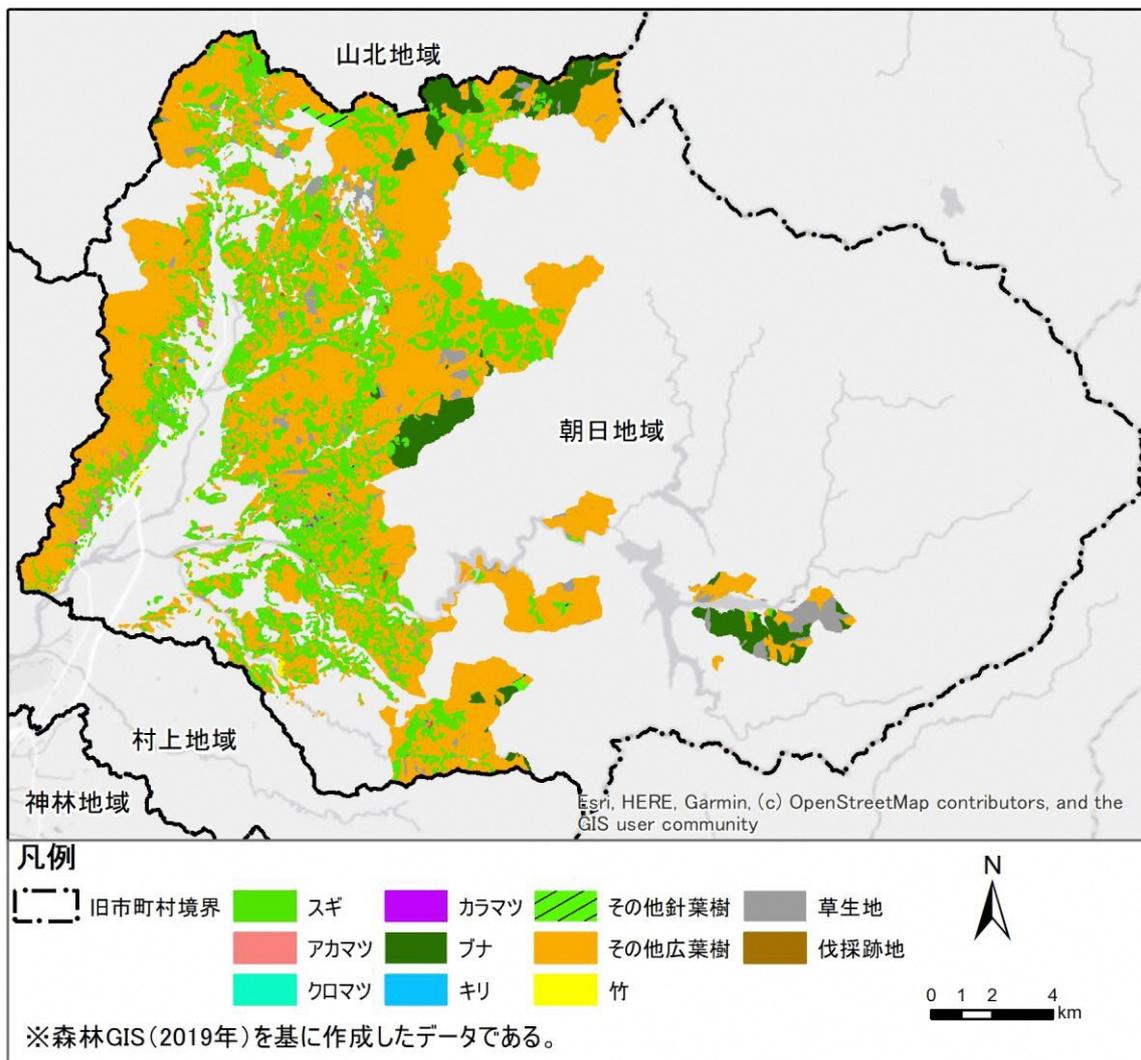
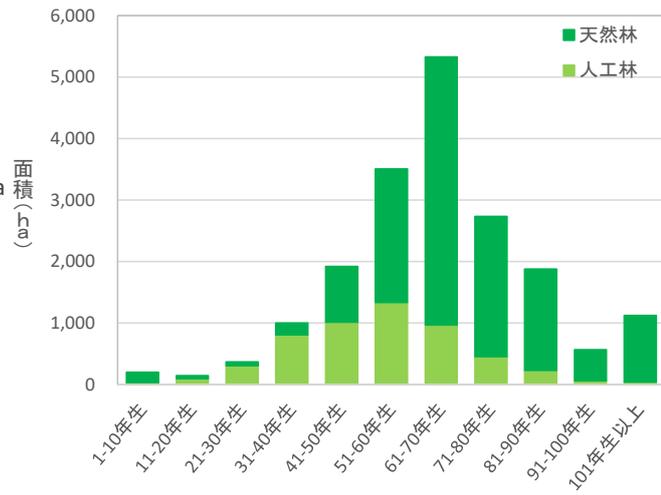
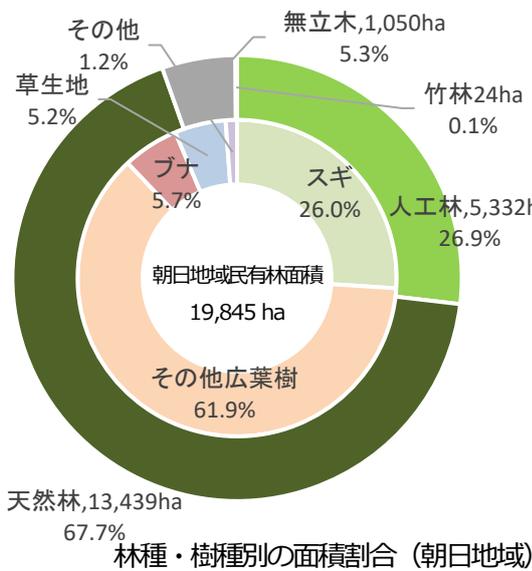
天然林と人工林の比率は、天然林が 13,439ha で全体の 67.7%であるのに対し、スギを主体とした人工林は 5,332ha で全体の 26.9%を占めています。

林齢別の森林面積は、天然林は 61-70 年生が 4,364ha と大きく、100 年生以上の天然林が 1,000ha を超えて分布しているのも特徴的です。

一方で人工林は 51-60 年生の 1,333ha をピークとした山型の分布となっています。41-50 年生、61-70 年生の人工林はそれぞれ 900ha を越えており、人工林では 41-70 年生が 62.1%を占めています。



朝日地域における林種別の森林の分布 (2019 年)

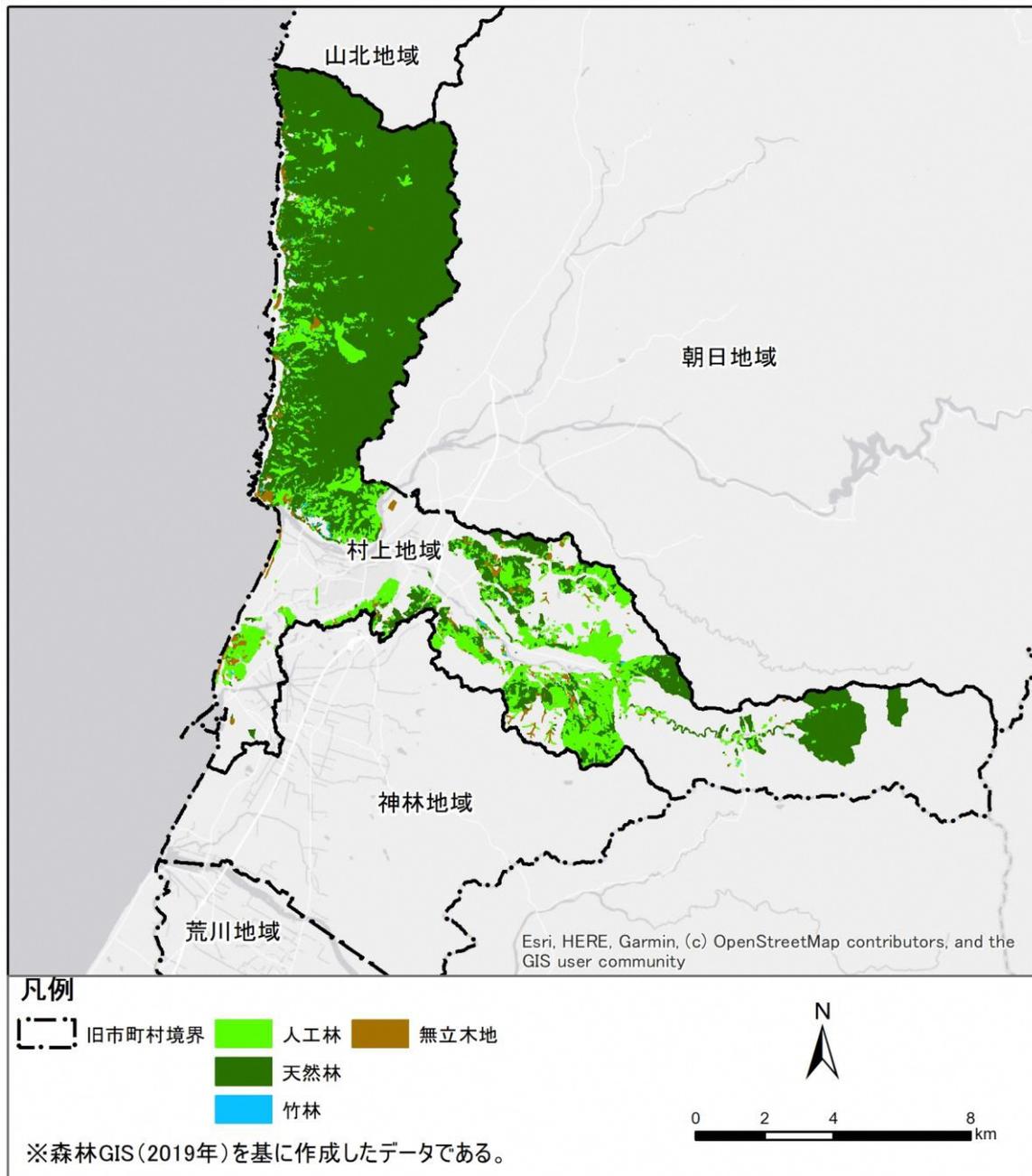


③ 村上地域

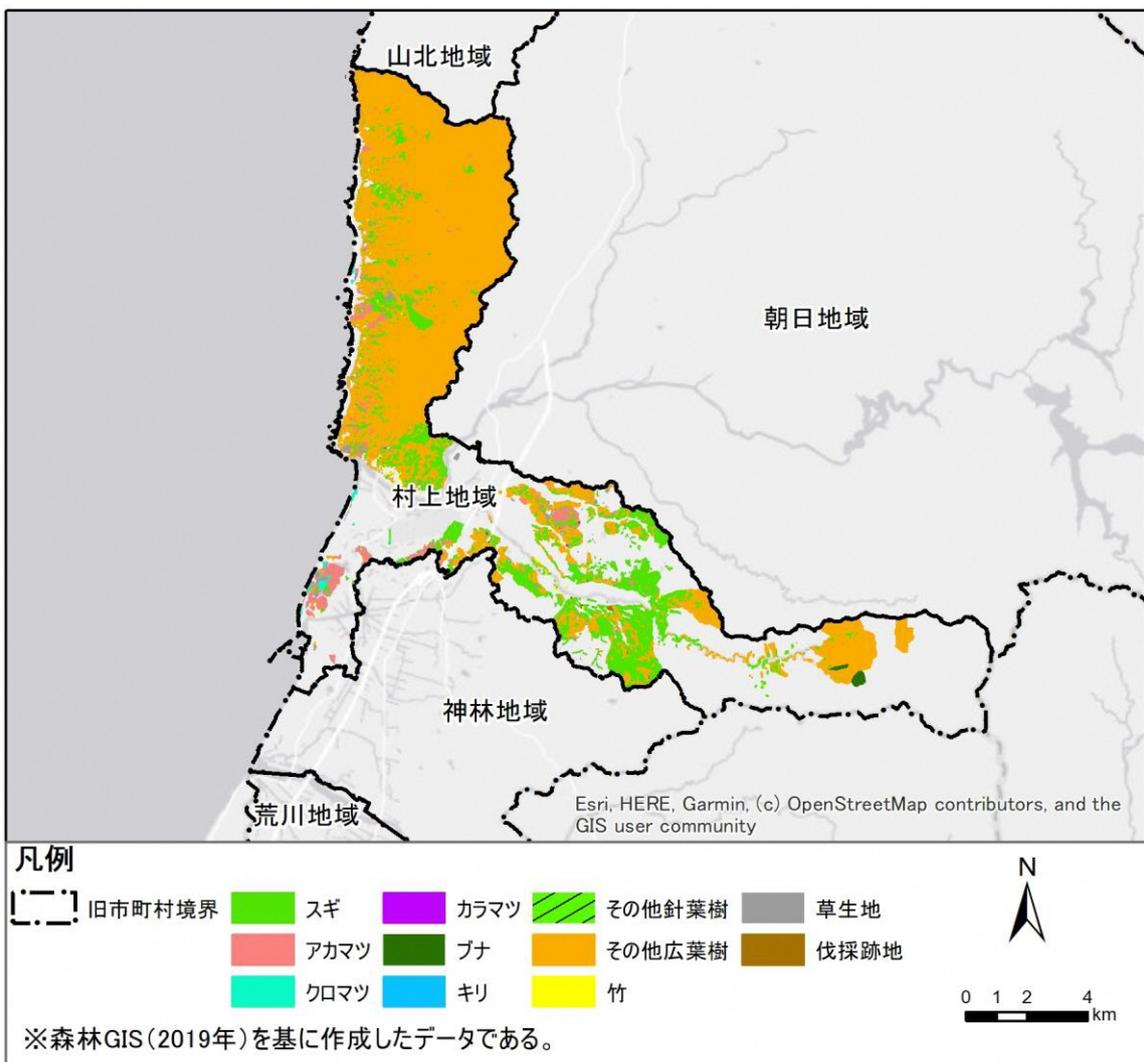
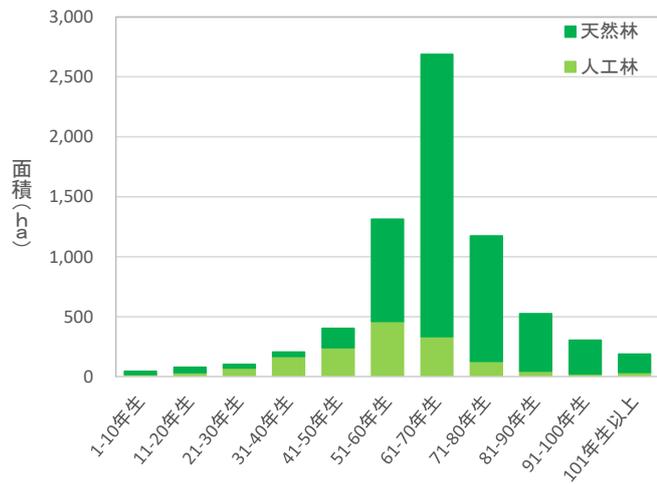
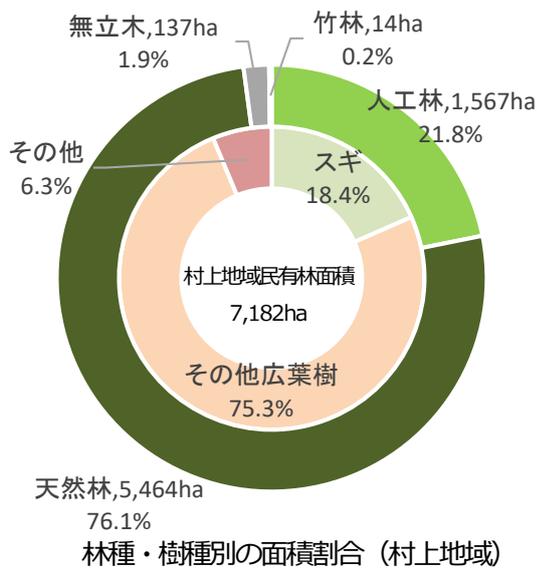
村上地域の私有林面積は 7,182ha で本市の私有林面積の 13.5%となっています。

天然林と人工林の比率は、天然林が 5,464ha で全体の 76.1%と大半を占めており、スギを主体とした人工林は 1,567ha で全体の 21.8%となっています。

林齢別の森林面積では、天然林は 61-70 年生が 2,353ha と突出して大きな分布を示す一方で、人工林は 51-60 年生が 461ha でピークとなり、緩やかな山型の分布を示しています。



村上地域における林種別の森林の分布 (2019年)



樹種区分図 (村上地域) (2019年)

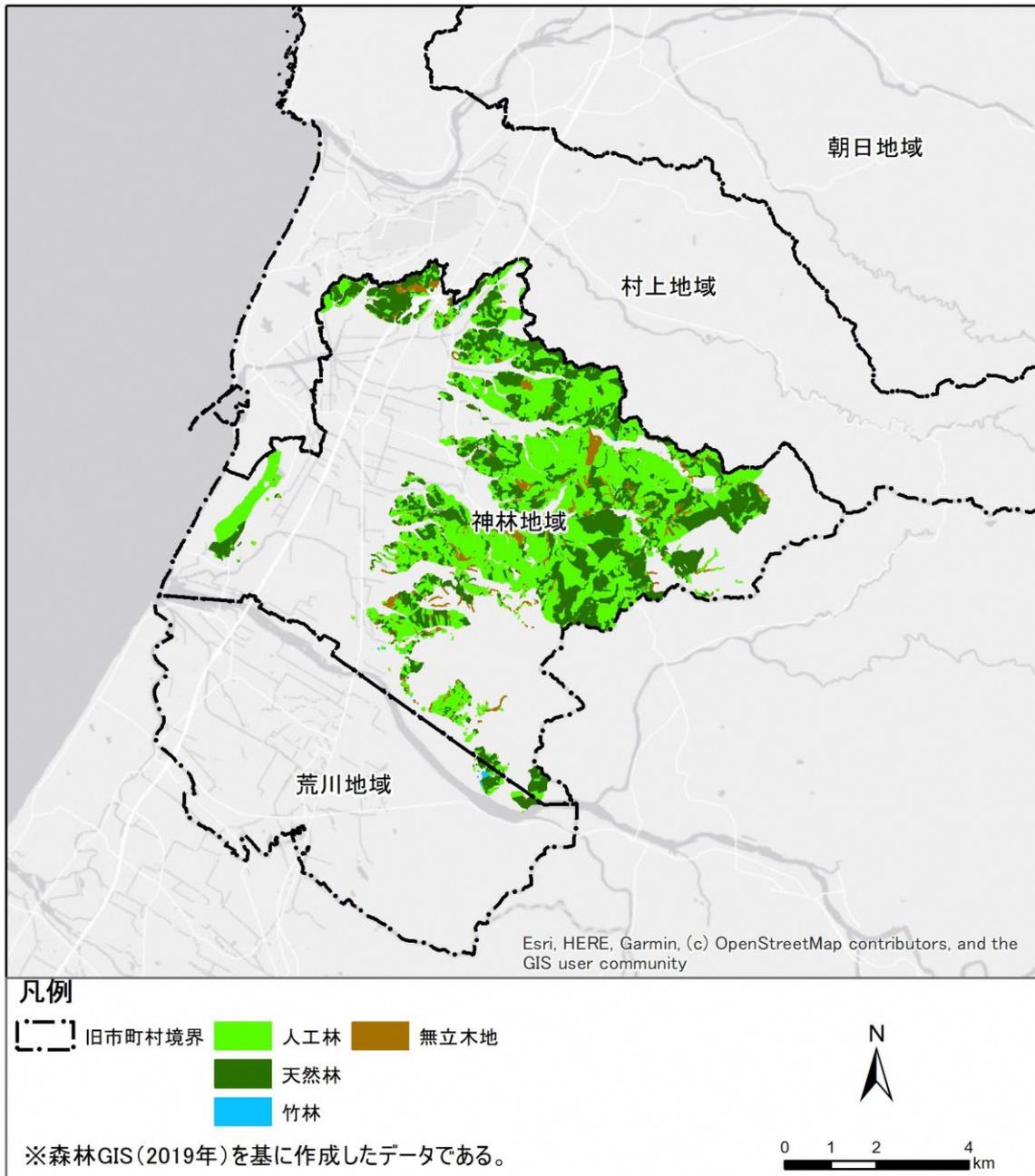
④ 神林地域

神林地域の私有林面積は 2,897ha で本市の私有林面積の 5.4%です。

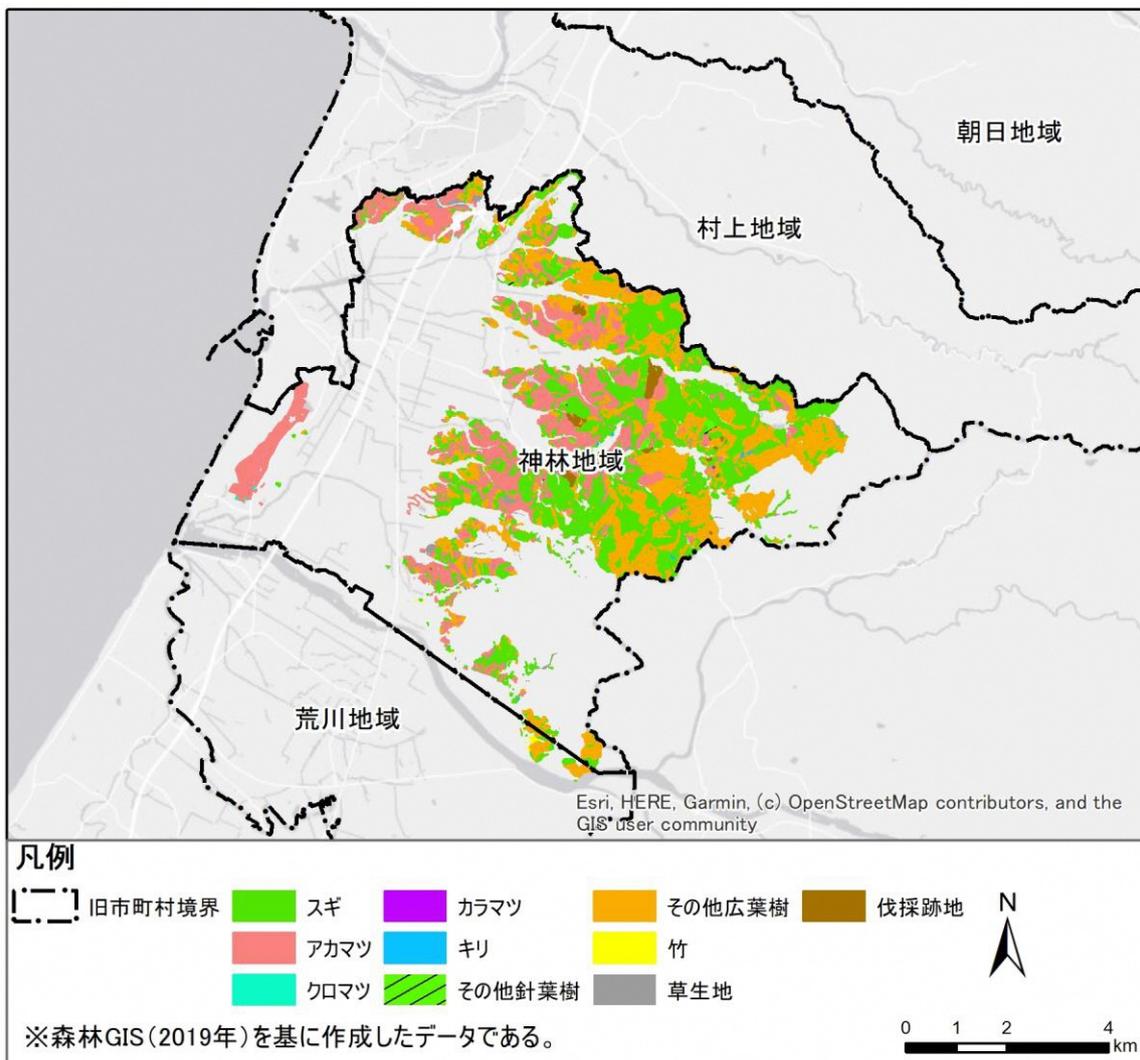
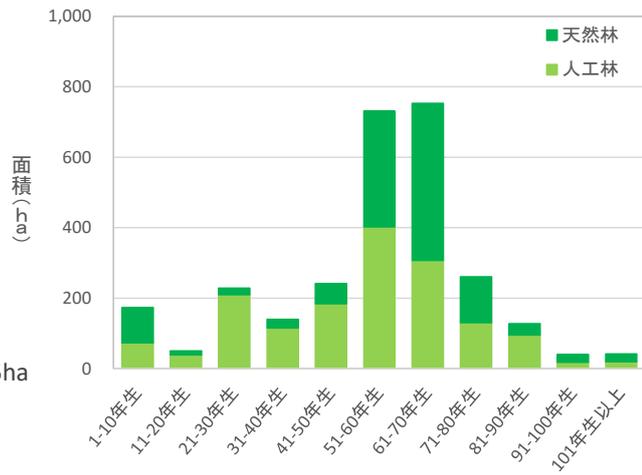
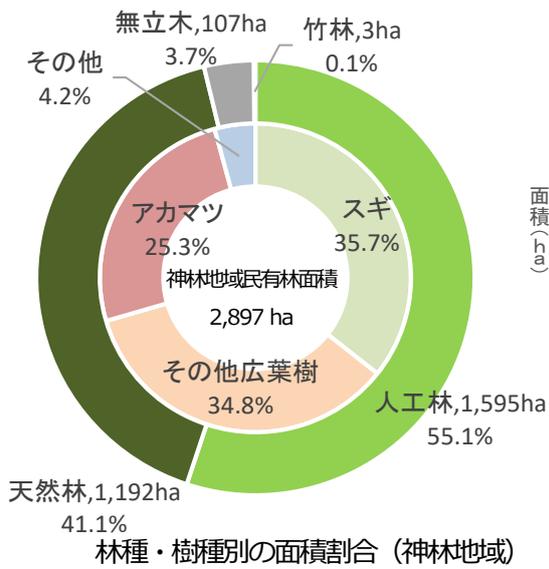
天然林と人工林の比率は、天然林が 1,192ha で全体の 41.1%であるのに対し、スギやアカマツを主体とした人工林は 1,595ha で、全体の 55.1%を占めています。

林齢別の森林面積では、天然林は 61-70 年生が 433ha で最も多い分布となっています。

一方で人工林は 51-60 年生の 412ha をピークとしたおおむね山型の分布となっています。71-80 年生以上はなだらかに減少していくのに対し、1~50 年生は面積の分布にばらつきがあります。



神林地域における林種別の森林の分布 (2019年)

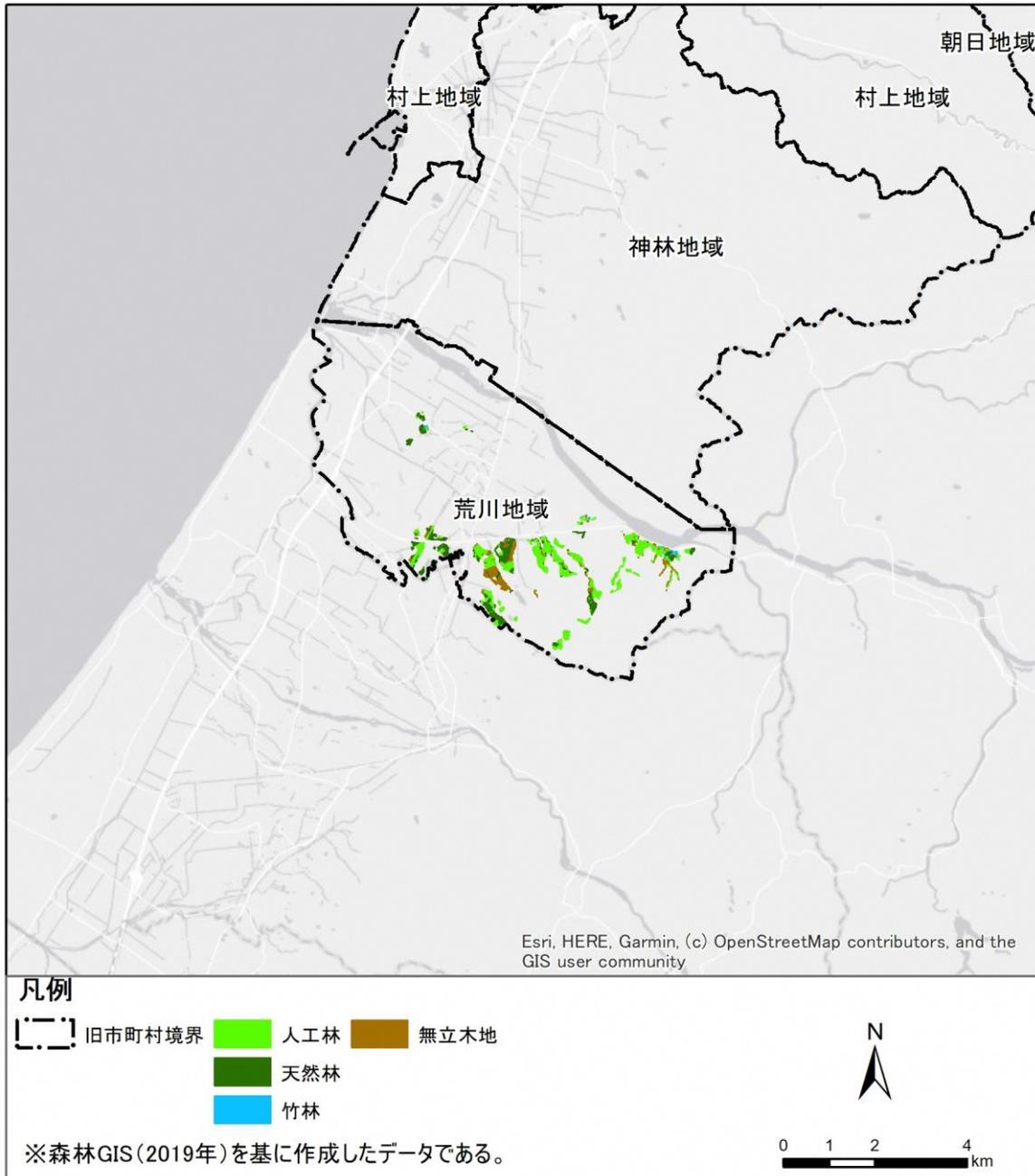


⑤ 荒川地域

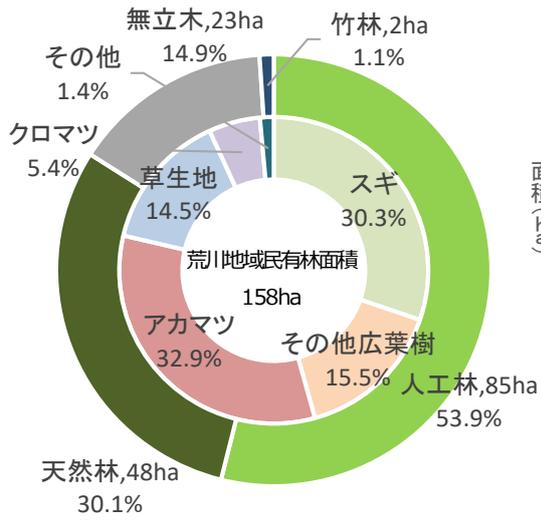
荒川地域の民有林面積は 158ha で本市の民有林面積の 0.3%であり、市内では最も森林の少ない地域です。

天然林と人工林の比率をみると、天然林は 48ha で森林全体の 30.1%を占めています。一方でスギやアカマツ等の人工林が 85ha で全体の 53.9%と半数を越えています。

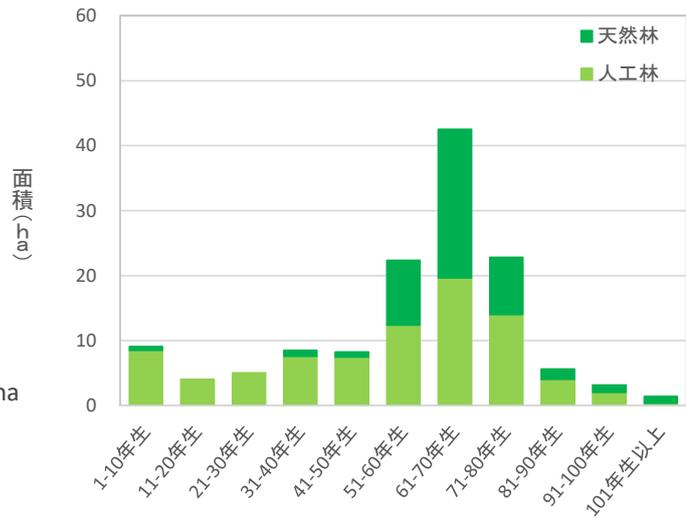
林齢別の森林面積では、天然林は 61-70 年生が 23ha を占めています。一方で人工林は 61-70 年生が 20ha でピークとなっており、比較的若年生林の割合が高く、特に 1-10 年生は 9ha を占め 11-50 年生よりも割合が大きくなっています。



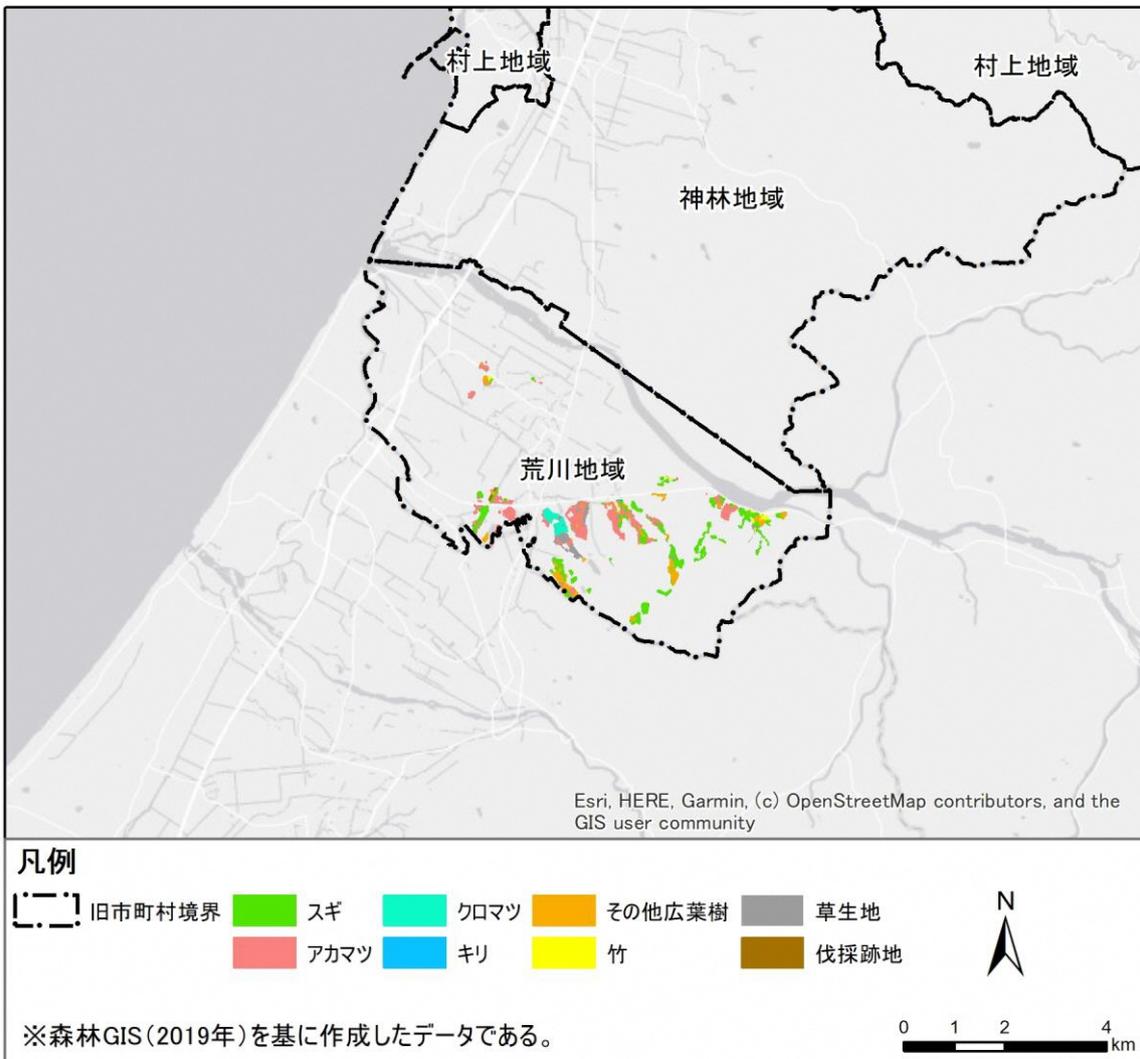
荒川地域における林種別の森林の分布 (2019年)



林種・樹種別の面積割合 (荒川地域)



林種別の森林面積 (荒川地域)



樹種区分図 (荒川地域) (2019年)

2 村上市の林業及び木材産業の現状

(1) 素材生産

村上市の素材生産量の推移は以下に示す通りであり、平成 24 年から平成 30 年まで県内のシェア率は平均 34.8%となっています。

村上市の素材生産量の推移 (単位: 千 m³)

地域	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
村上市	35.2	41.8	48.1	31.8	56.3	59.3	60.1
新潟県	114	124	140	87	152	162	175
シェア	30.9%	33.7%	34.6%	36.6%	37.0%	36.6%	34.3%

〔村上地域振興局 管内林業の概要 (平成 24 年度～令和 2 年度版)〕より引用

平成 30 年次の本市の素材生産量は 60,084m³ で県全体の 34.3%を占め、県内有数の木材生産地となっています。平成 30 年次の素材生産量から推計される木材生産額は、新潟県で 108 千万円、本市は 37 千万円であり、県内の 34.3%の素材生産を担っています。

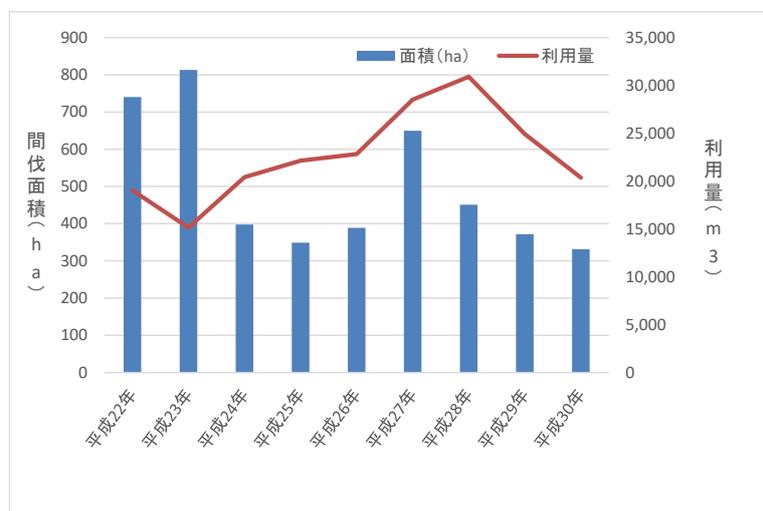
(2) 間伐実績

村上管内 (村上市、岩船郡) における平成 22 年から平成 30 年度末の間伐実績は新潟県の間伐実績と比較すると面積で約 16~32%、利用量は約 28~50%となっています。間伐面積は平成 28 年から、利用量は平成 29 年から減少傾向がみられます。

村上管内 (村上市、岩船郡) の間伐実施面積と利用量の推移

区分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
面積 (ha)	村上市、岩船郡	740	813	398	349	389	650	451	372	331
	新潟県	3,268	3,456	1,972	2,139	1,926	2,025	1,856	1,400	1,515
利用量 (m ³)	村上市、岩船郡	19,032	1,5136	20,412	22,140	22,830	28,516	30,918	24,917	20,357
	新潟県	39,736	33,110	46,419	45,507	51,374	56,364	73,812	67,282	72,072

〔村上地域振興局 管内林業の概要 (令和 2 年度版)〕より引用



村上管内 (村上市、岩船郡) の間伐面積と利用量の推移

(3) 路網の現状

村上市における林内道路延長は 606,894m であり、私有林面積(53,210ha)あたりの林内道路密度は 11.4m/ha、林内道路に作業路及び作業道を加えた路網密度は 19.9m/ha となっています。

村上管内（村上市、岩船郡）における林道の状況

市町村名	私有林面積	林道					公道延長	林内道路延長	林内道路密度	作業路作業道延長	路網密度 (林内道路と作業路・作業道を含めた密度)
		林道路線数 (1~3級)	林道延長 (1~3級)	軽車道路線数	軽車道延長	路線数計					
		本	m	本	m	本					
村上市	53,210	119	293,852	25	34,003	144	279,039	606,894	11.4	452,910	19.9
関川村	6,511	12	32,948	2	3,115	14	60,800	96,863	14.9	100,090	30.3
粟島浦村	840	0	0	0	0	0	24,542	24,542	29.2	1,250	30.7
管内合計	60,561	131	326,800	27	37,118	158	364,381	728,299	12.0	554,250	21.2
新潟県	565,140	995	2,933,324	87	106,243	1,087	5,885,864	8,932,539	15.8	2,181,202	19.7

〔新潟県広域流域別林内道路整備状況表（令和2年3月31日現在）〕より引用

(4) 林業従事者数

木材価格の低迷や都市への人口の流出、少子高齢化といった影響を受け、林業に携わる人口は平成27年は191人となっており、平成22年の193人から2人減少しました。一方、女性の林業従事者数は19人から24人に増加しています。

林家の戸数は、平成22年の2,018戸から71戸減少しました。

林業従事者、林家の戸数は減少傾向にあることから、その確保が課題といえます。

村上市内の林業就業者数（単位：人）

性別	平成22年	平成27年
男	174	167
女	19	24
総数	193	191

国勢調査結果より引用

村上市内の林家戸数（単位：戸）

地域	平成22年	平成27年
村上市	2,018	1,947
新潟県	28,804	27,105
シェア（%）	8.2	8.4

国勢調査結果より引用

(5) 林業事業体、製材工場の状況

市内には2森林組合、24生産森林組合、6認定事業体（森林組合を除く）があり、市内の林業事業体が各地区において24の森林経営計画（10,734ha）を樹立し、造林、保育、林産などの地域林業の担い手として大きな役割を果たしています。また、12社の製材工場があり、地元産材を供給する重要な役割を果たしています。

地域の林業を担う事業体として、市内には2つの森林組合があります。

村上市森林組合は、北側の山北地域のエリアを、いわふね森林組合は村上地域、朝日地域、神林地域、荒川地域のエリアを主に管轄しています。

村上市内の森林組合

森林組合名等	事業内容
村上市森林組合 (2010年4月 山北町森林組合から改称) 組合員数 887人	森林整備、林産販売 木材加工・販売・サービス
いわふね森林組合 組合員数 1,491人	森林整備、林産販売 木材加工・販売・サービス

(6) 林業に関連する有資格者数

市内の林業に関連した有資格者を示します。森林総合監理士（フォレスター）は3人、森林施業プランナーは9人となっています。令和2年度に創設された森林経営プランナーは取得者がいない状況です。

村上市内の有資格者の状況

資格の種類	現況（令和2年度）
森林総合監理士（フォレスター）	3人
森林施業プランナー	9人
森林経営プランナー	0人（R2創設）

(7) 林産物の生産状況

市内で生産された林産物の生産量及び生産額を以下に示します。

生しいたけをはじめとした林産物を生産していますが、近隣の関川村などと比較してその生産量は少ない状況です。

村上市の林産物の生産状況（平成30年度）

地域	生しいたけ生産量 (t)	きのこ生産額 (千万円) (生しいたけ、なめこ、えのきたけ、ひらたけ)
村上市	17	5
関川村	177	15
新潟県	2,626	949

「村上地域振興局 管内林業の概要（令和2年度版）」より引用

(8) 近年の主要な木造公共建築物等の整備状況

本市では、公共建築物やその他の建築物について、木材の利用を促進するため木材の利用や外構・内装の木質化を進めています。近年に整備された主要な木造建築物の状況を以下に示します。

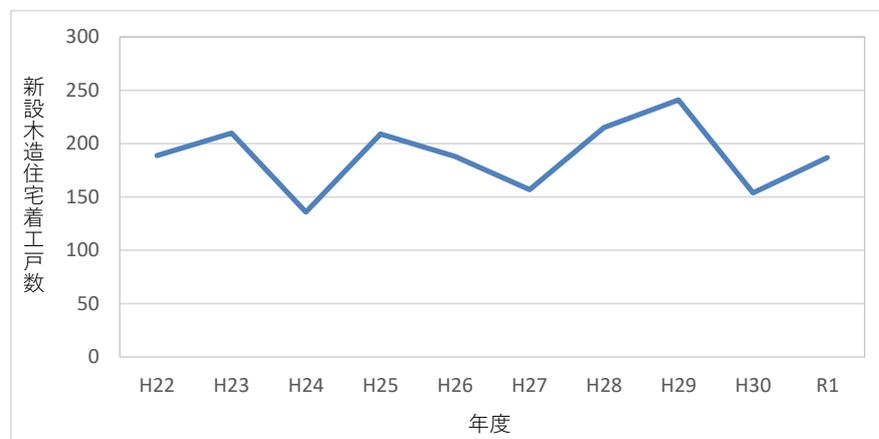
主要な木造公共施設等の整備事業一覧（平成20年度以降）

年度	施設名	施設種別
H22	荒川いこいの家	木造公共施設
H23	山北支所庁舎	木造公共施設
H25	村上まごころの里 （(社)真心福祉会）	木造平屋建て（介護施設）
H25	荒川保育園	木造公共施設
H27	保内学童保育所	木造公共施設
H27	村上駅自転車等駐輪場	木造公共施設
H28	山辺里保育園	木造公共施設
H29	黒堀・町屋等 むらかみ町屋再生プロジェクト	外装木質化・木製外構 （黒堀）
H30	黒堀・町屋等 むらかみ町屋再生プロジェクト	外装木質化・木製外構 （黒堀）
H30	村上市スケートパーク	屋内スケートボード施設

(9) 新設木造住宅着工状況の推移

市内における新設木造住宅の着工状況を以下に示します。

平成22年度から令和元年度の新設木造住宅の着工戸数は、最大で平成29年の241戸、最小で平成24年の136戸となっており、年により変動がみられます。平成28年度、平成29年度は200戸数以上の新築があったものの、平成30年度、令和元年度はやや減少しています。これらは、消費税引上げをにらんだ駆け込み需要とその反動が影響したものと考えられます。



村上市内の新設木造住宅着工戸数の推移

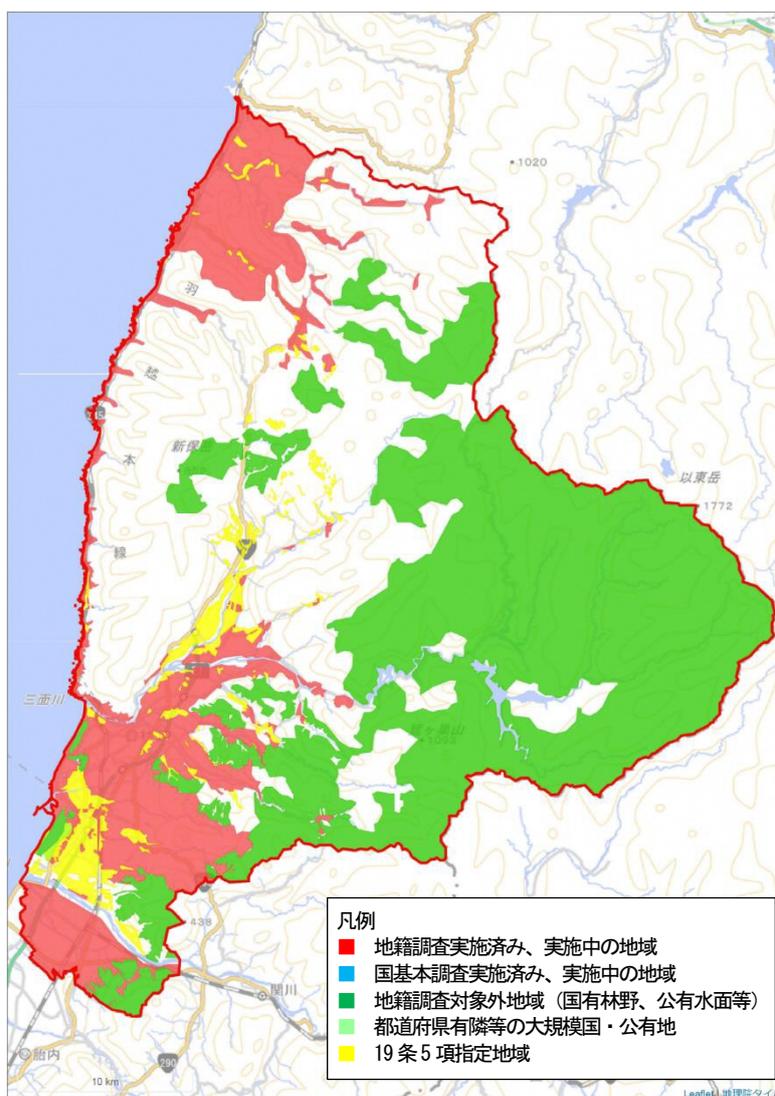
(10) 地籍調査の進捗率

本市における地籍調査の進捗状況を以下に示します。本市の地籍調査進捗率は 15.6%となっており、特に森林での進捗が悪く、効率的な森林整備を進める上での課題となっています。

地域ごとの地籍調査の進捗率

地 域	民有林 (ha)			国調残面積 (ha)
	民有林面積	国調実施済	割合	
山北地域	23,128	4,462	19.3%	18,666
朝日地域	19,845	231	1.2%	19,614
村上地域	7,182	921	12.8%	6,261
神林地域	2,897	2,544	87.8%	353
荒川地域	158	150	94.9%	8
全 体	53,210	8,308	15.6%	44,902

国土調査実施面積は、森林計画データ（平成29年）による集計数字



（国土交通省地籍調査 web サイトより）

村上市の地籍調査状況マップ

3

村上市の森林・林業・木材産業の課題

本計画の策定にあたり、本市の森林・林業・木材産業を取りまく課題を抽出するため、市内の森林において素材生産や造林作業を行う林業事業者（川上）、木材加工を行う製材・木材加工業者（川中）、加工された木材を使用する工務店（川下）等を対象にヒアリングを実施しました。

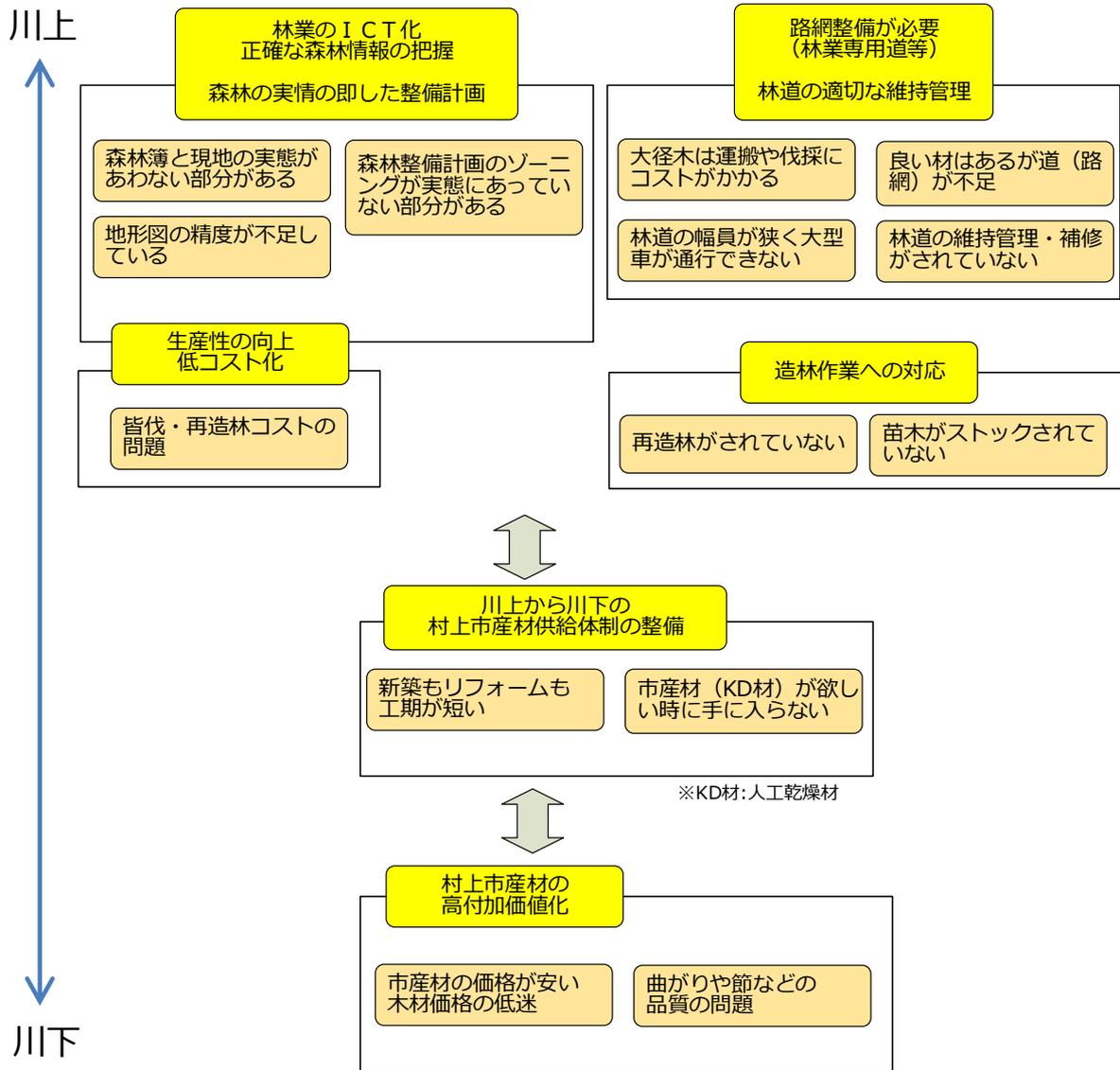
ヒアリングにより抽出された問題点・課題に対する取組の方向性を次頁に示します。

本計画では、抽出された課題を解決し、本市の森林・林業・木材産業をより良いものにしていくことを目指しています。

ヒアリング対象

区 分	ヒアリング対象
川 上	林 業 事 業 体
川 中	製材・木材加工業者
川 下	工 務 店 等
行政機関	新潟県森林研究所

問題点、課題のまとめと取組の方向性



森林・林業、
木材産業、
全体に関すること

山のことや木のことを
両親や祖父母から
教わるのがなくなった

村上が林業地であること
を市民が知らない

若い世代の木離れ

地元の木を利用すると
いう意識の普及・啓発

村上の森林の現状を知
ってもらう必要がある

村上の森や林業に関する普及啓発

